

《課題名》

高齢者肺癌患者に対する手術後の臨床経過に関する検討

《対象者》

2004年1月から2022年12月までに滋賀医大呼吸器外科で肺癌手術を行った75歳以上の非小細胞肺癌患者さんを対象とします。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：高齢者肺癌患者に対する手術後の臨床経過に関する検討

研究期間：承認日（2018年11月20日）～2022年12月31日

症例数：約200例

実施責任者：滋賀医科大学 呼吸器外科 花岡 淳

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

近年、高齢者人口の増加に伴い、高齢者肺癌手術件数が増加しています。手術療法は非小細胞肺癌に対する最も有効な根治的治療であり、年齢にかかわらず肺葉切除（標準手術）が第一選択とされています。しかし高齢者にとって肺癌に対する肺葉切除は、術後合併症の発生やパフォーマンス・ステータス（PS：日常生活動作能力の指標です）を低下させるリスクがあると考えられます。これらのリスクから、高齢者においては区域切除や部分切除などの縮小手術（非標準手術）が選択されることもあります。私たちは、高齢という理由で縮小手術を選択することはせず、高齢であっても臓器機能が保たれていれば肺葉切除を受けるべきであると考えています。

今回、肺癌に対して手術を受けた高齢者患者さんの、術後合併症や術後PSおよび予後等について調べ、術後合併症やPSが低下した症例に関して、そのリスクとなり得る臨床因子を検討します。これらの情報を発信することで、高齢者肺癌患者さんに対する手術法選択の一助になると考えられます。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

2004年1月から2022年12月に滋賀医科大学附属病院で手術をうけた75歳以上の非小細胞肺癌患者さんの臨床情報（年齢、性別、術前PS、術後PS、手術術式、術後ドレーン留置日数、術後在院日数、術後合併症、術後の治療歴、再発の有無、生存期間、死亡している場合はその死因、血液検査、呼吸機能検査、エコー検査、喫煙歴、併存病、既往歴）をカルテより抽出し、術後合併症や術後パフォーマンス・ステータス低下の有無、そのリスク因子、および予後などを検討します。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(8) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、(2022年12月31日までに) 下記(9)にご連絡ください。

(9) 問い合わせ等の連絡

滋賀医科大学 呼吸器外科 花岡 淳

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2244

メールアドレス： hqsurge2@belle.shiga-med.ac.jp